

夢を抱いて新規就農

子どもは社会の宝 地域の子どもは、地域で見守り育てよう



ほうれん草を定植された松岡さん

新規就農経営規模ハウス4棟で野菜栽培をされている松岡政彰さん（久古二十六才）にお会いし、将来の夢を語っていただきました。

質問 就農へのきっかけは？
松岡 農業がもともと好

きだったからです。以前、長距離トラックに乗っていて、三、四時間、家で寝るだけの暮らしに疑問を持っていたこともありましたが、亡き母が、農業の師匠から預り集めた沢山の農業パンフを観た時に、農業の苦しさを知りつくした母が、以前から、

質問 いつ頃から何を作付されていますか？
松岡 一昨年九月、農大を卒業、浜の師匠からハウス野菜づくりを研修、トマト、キュウリ、小松菜、ほうれん草、年間

ふる回転、真夏に一ヶ月だけ休んで、太陽熱利用の土壌改良、トマト苗も自分で接木しています。

質問 やりがい、希望は？
松岡 すべて自分でコントロールできること。昨日は友人と旅をして、帰ったところです。つつましくとも、好きな故郷で好きな農業が出来ること。彼女はいます、彼女の仕事を尊重し、私一人で営農します。

松岡 トマトの最盛期が一番大変。でも人手にたよらず「自分の限界をのり超

える時」と心に決めている。人手に頼れば、もうけはありません。土づくりのため、石ころを十トントラックで一台分ひろい出し、深耕出来るよう整備し、米ぬか、すくもを入れ、土壌消毒もしました。

「議会だより」に対するご意見をお待ちしております。

編集後記

原存廃議論が、全国的に広がる中で、島根原発は、二月、点検のため全面停止する。本町議会は、点検後の再稼働中止、廃炉、自然エネルギーへの転換を求める意見書を採択、議決し、国に提出した。

かつて、我が県内での原発立地の動きに、女性達は立ち上り、中止に追い込み、原発ゼロの県である。美しい故郷を守り抜く、議論と行動を期待する。

幅田千富美

【編集】

議会広報特別委員会

委員長 大森 英一

副委員長 渡部 勇

委員 幅田千富美

委員 幸本 元

委員 勝部 俊徳

委員 篠原 天